

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

多様性が求められる時代に柔軟に対応した制度作りと社内啓発を行い、SDGsに掲げられた目標の達成に直接あるいは間接的に貢献する製品の製造・販売を通して地域や社会に先進の技術にて安心を提供し、社会文化に貢献する企業を目指す

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ◎社会 ◎経済	地域・社会文化を広める文教施設市場に対し、教育環境の整備、文化財や自然遺産の品質保持(長期保存)に配慮した環境作り、その施設に対する利用者の有効な利用(展示その他)や安全・安心な環境提供を可能とする各製品の提案・販売する企業活動を行う。	文化施設(博物館・美術館等)の収蔵庫や収蔵庫扉整備に貢献する製品等の販売を通して文化財の保管・保存による保護に取り組む。 文化財の継承やその情報の利活用による社会文化・教育・観光業への貢献や支援を通して地方文化振興に取り組む。 これらの具体的な指標として、2020年直近5期平均比5%増(関連売上)を目指す。
◎環境 ◎社会 ◎経済	お客様に満足して頂ける製品・商品・サービスの向上を図り、大気の水及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことを含め、熊本工場において前年度より環境負荷低減を目指す。	材料、製品の構造や機能を見直したり、システムの機能活用により、輸送におけるCO2排出量の削減、資源使用量、消費電力量の5%削減を図る。
◎環境 ◎社会 ◎経済	ニューノーマル時代に適応した新たな働き方の見直しと国籍・障害及びジェンダー等の権利に配慮した労働環境を構築して全ての従業員の安全・安心して働ける労働環境整備を促進する。	あらゆる差別やハラスメントが発生しないよう従業員教育、コンプライアンスの遵守等の取り組みのため、従業員教育を年1回以上行う。 ニューノーマル時代に適応し、社員の働き方を見直し、社員のニーズ・満足度と企業の成長の両立を目指す。(時間外労働の削減、女性管理職割合の増、男性の育児休業取得率の増、テレワークの推進など) 具体的には、管理職に占める女性比率8%以上維持、男性社員の育児休業取得率を取得対象となる社員の7%以上にする。

<パートナーシップ>

--

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGs に関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号: 号

<SDGs に関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。